

本特集の目的は、国際政治と中国との関わりについて、国際政治・国際政治学から見た中国要因、中国の対外政策やその内政との関連、そして東アジア地域などの国際政治などから多角的に解明することにある。

国際政治における中国の役割はさまざまな分野で看過できないものとなった。だが、その様相については依然不分明な点が少なくない上、さまざまな説明がなされている。たとえば、主権や安全保障が絡む東アジア地域では強硬であるが、グローバルな空間では協調的だとの見方がある。また、世界秩序形成の面では、自らに不利な枠組みには反対し、一般の経済金融の国際組織には途上国の代表として規範の修正をおこなおうとし、さらにその秩序にとって中国が受益者だとみなされれば、特に反対しないという見方もある。他方、中国から見れば対外行動は一貫するものとして説明され、こうした分類は中国の外からの説明に過ぎないとされる。

中国国内でも対外政策については多くの議論がある。中国の対外政策が国内情勢と深く関わることは周知の通りである、国内政治の諸問題を理解しなければ対外政策を理解できないとの主張も確かだ。だが、対外政策が国内に与える影響もまた考慮しなければならないだろう。また、対外政策のアクターも国家、党、軍に限定されず、地方政府や国有企業なども一定の役割を果たしつつあることも昨今の特徴であり、研究のハードルを高めつつある。

このように、「国際政治と中国」という課題は多様な論点を内包するが、それを解きほぐすには、歴史学、地域研究、国際政治学、外交研究など、多様なディシプリンからのアプローチが必要だ。この特集では、日本の国際政治学の特徴である歴史研究や東アジア地域の視点を大切にしつつ、しばしば誇張されたり、色眼鏡で見られたりする中国と国際政治との関わりについて、学術的に、また総合的に解明することを企図する。

論文の応募をご希望の会員は、論文の仮タイトルと要旨(600~800字程度)を下記の編集責任者の連絡先までお送りください(締切は2018年5月31日)。応募にあたってはご自宅とご勤務先・ご所属先の住所・電話/FAX番号、メールアドレスをお知らせください。検討のうえ、ご執筆願うことになった方には2018年6月31日までに編集責任者から連絡いたします。論文原稿の最終提出締め切りは2018年12月31日を予定しております。論文原稿の分量は註を含んで2万字以内です。査読のうえ最終的な掲載の可否を決定いたします。本号の刊行は2019年5月31日を予定しています。執筆要領の詳細は学会ホームページでご確認ください。

<http://jair.or.jp/wordpress/wp-content/uploads/documents/shippitsuyoryo.pdf>

お問い合わせ・お申し込みは下記までお願いいたします。

《編集責任者》川島 真

《連絡先》〒153-8902 東京都目黒区駒場 3-8-1

東京大学大学院総合文化研究科国際社会科学専攻

TEL 03-5454-6451 Fax 03-5454-4339

E-mail: kawashima★waka.c.u-tokyo.ac.jp (★を@に置き換えてください)